

【譜めくり作業軽減の方策】(仕様書)

富山に伝わる三つの民謡

I. 越中おわら

① 2 番用、3 番用の譜面をつくる

原本の 10～12 頁を 2 部コピーし譜面を 2 部作る(10,11 は両面コピーでも良い)

② ①で作成した各譜面の 1 ページ目空欄に 2 番用、3 番用と記入し、2 番用譜面の歌詞欄の 2 番を丸印で囲み歌詞にマーカーなどで明示する。3 番用も同様にする。

③ ①で作成した譜面 2 部とも 10 頁(コピー譜)の上段全部および下段2小節(90,91)をバツ印(X)で抹消する。(1 番→2 番→3 番と連続して歌うために不要のため)

④ 2 番用譜面を原本の 14 頁と 15 頁の間に、3 番用譜面を 20 頁と 21 頁の間にそれぞれ貼付する。

以上で完了です。なお私たちは 3 番用譜面の 12 頁で歌い終わりとなります。

II. こきりこ

① 2 番用、3 番用の譜面をつくる。

② 2 番用として原本の 29,30 頁をコピーし譜面を作る(両面コピーでも良い)。29 頁(コピー譜)の上部空欄に 2 番用と記入。歌詞欄の 2 を丸で囲み、歌詞にマーカーなどで明示する。30 頁(コピー譜)84 小節をバツ印(X)で抹消する。

③ 3 番用として 29,30,36 頁をコピーし譜面を作る(29,30 は両面コピーでも良い)。29 頁(コピー後)の上部空欄に 3 番用と記入し、歌詞欄の 3 を丸で囲み、歌詞にマーカーなどで明示する。コピー譜の 30 頁 84、86～88 小節、36 頁 129～132 小節をバツ印(X)で抹消する。

④ ②で作成した 2 番用の譜面を原本の 30 頁と 31 頁の間に貼付する。

⑤ ③で作成した 3 番用の譜面を原本の 36 頁と 37 頁の間に貼付する。

以上で完了ですが、最後に原本の 30 頁下段をバツ印(X)で抹消。これは必ず上記作業後に行うこと。作業前に抹消すると 2,3 番を飛ばすことになるので要注意。

III. むぎや

① 原本 46～49 の 4 頁をコピーし譜面をつくり、46 頁(コピー譜)の上段全てをバツ印(X)で抹消する。

② ①を原本の 54 頁と 55 頁の間に貼付する。

以上で 3 曲すべて完了ですが、くり返し関係記号(リピート記号など)は不要になりましたので、全て抹消しておく(混乱を避けるため)

作成した譜面を次頁以降に添付